

# 生成AI(ChatGPT)の 全庁でのトライアル実施について

---

令和5年11月28日 部長会議

総務部 情報化推進グループ

行政DX推進課

## トライアルの目的

- 行政DX推進課では、庁内の業務効率化につながるよう、生成AI(ChatGPT)の導入について検討し、ChatGPTと連携する複数のサービス(ツール)を調査してきた。
- 本格導入までには一定程度の試行が必要だが、多くの業務で活用できるような効果的な使用方法やツールの利用に関する成果と課題などを共有し、活用方法を検討するもの

## トライアルの進め方

11月

### < 準備 >

- トライアル用ツール 及び 利用ルールや使い方、注意点等の必要な情報を準備
- 庁内へアナウンス

12~1月

### < トライアル実施 >

- 観点：各所属の業務にどのように活用できるか、実際にどのように活用したか。
- 使い方や活用例を随時、庁内で共有し、各所属における積極的なトライアルを支援

2月

### < 評価 >

- 庁内アンケートやヒアリングにより、トライアル結果を確認
- 生成AIの全庁での本格導入 及び トライアル用ツールについて評価
- トライアル結果(好事例) 及び 評価結果は、まとめ次第速やかに庁内で共有

## トライアルの概要

### (1) 利用方法

- 全所属にアカウント付与（1所属1アカウント）
- 全庁PCのSASTIKまたはインターネットPCのWebブラウザを使って、ChatGPTと連携したWebサービスのサイトにアクセスし、所属の専用アカウントでログインして利用

### (2) 使用ツール：ChatGPTとWeb上で連携するサービス(ツール) = Crew (株式会社クラフター)

### (3) 選定理由（特徴）

- 質問した内容・生成された回答(会話情報)がChatGPTの学習に利用されない。  
→ 会話情報はCrew内部に留まり、セキュリティに配慮されている。
- 質問文のひな形が用意されている。  
→ すべての質問文をゼロから考える必要がなく、ノウハウの有無に関わらず利用しやすい。
- データの学習機能により、長野市が独自に作成した文書(※)から回答を作成可能  
(※)会計・契約の手引や各種マニュアル、担当課・者ごとの引継ぎ資料、情報セキュリティポリシーや例規集など

### (4) 業務での活用例

#### 文章作成

挨拶文や通知・依頼文、仕様書のひな形の作成 など

#### 案出し

企画のアイデア出し (例)若手職員向けに実施すべき研修の案を5つ考えて

#### 調べもの

手引類から必要な情報を検索 (例)指名競争入札の契約要件を教えて

本トライアルでは、活用例として記載した用途(業務)以外での試行を奨励  
利用ルールの上で自由に試行してもらうことで、より効果的な実務での活用方法を模索する。

## 利用ルール案

生成AIの多くは、質問した内容・生成された回答(会話情報)がAIの学習に利用される仕組みになっていますが、今回、トライアルで活用する「Crew」は、会話情報がAIの学習に利用されない仕組みになっています。

強固なセキュリティで保護された環境で利用でき、データの安全性に配慮されています。

しかしながら、入力する内容や、それに対して生成された回答の利用の仕方によっては、市民の生活等へ影響を及ぼしたり、法律違反、情報漏えいにつながる恐れもあります。

そのため、「Crew」を利用する際には、次の3つの点に留意してください。

### ① 個人情報(特定個人情報を含む)を入力しないこと。

- ・市民の生活等へ影響を及ぼす恐れのある情報を入力していないか、慎重に確認する。
- ・仕組みに任せるだけでなく、安全性を高める利用の仕方を心掛ける。

### ② 生成された回答を必ず確認すること。

- ・生成された回答は、必ずしもすべてが「正確」とは限らないと意識する。
- ・公開等する場合、事前に根拠や裏付けを十分に確認する。

### ③ 著作権保護の観点から、以下の点に十分注意すること。

- ・既存の著作物に類似する文章の生成につながるような質問文を入力をしないこと。
- ・公開等する際は、「生成AIにより作成」と明記する。